

令和5年度 東京都社会福祉協議会主催  
社会福祉法人・施設 『会計実務研修会（後期）』

趣 旨

社会福祉法人会計の実務は、法令に準拠した適正かつ公正な支出管理と資金の保全による財務報告の信頼性を確保するベースとなるものです。

令和5年度後期の会計実務研修会の「**基本プログラム**」では、社会福祉法人・施設の事務職員を対象に、決算作業を適切かつ効率的に処理することを学ぶとともに、社会福祉充実残額計算の仕組み、社会福祉法に基づいた決算承認手続の流れや計算書類等の備置・閲覧・公表等についても解説します。

そのほか、前期の研修会でも好評でした「**その他プログラム**」を再配信します。**その他プログラム**のみの受講も可能です。「インボイス制度・電子帳簿保存法」「財務諸表からみる経営分析」は**経営者層の方にぜひ視聴いただきたい内容**です。

社会福祉法人・施設の適正な経理処理、さらに法人経営を進めるために、多くの方の視聴参加をお待ちしております。

1 講師

福社会計サービスセンター 宮内 眞木子氏、福社会計サービスセンター職員

2 対象者

- (1) 社会福祉施設・事業所及び当該施設・事業所を運営する主に社会福祉法人の経理実務担当職員（＝雇用関係にある職員）
- (2) 社会福祉法人の役職員及び社会福祉施設・事業所の管理者・職員  
※税理士、会計システム担当者、行政の方の参加はお断りします。

3 プログラム

〈1〉	<b>基本プログラム</b> *指定テキストを使用します。	時間
	「決算」にかかる経理処理及び決算関連業務 (共通+種別<高齢/障害/保育/措置>のうち1コース 選択)	共通 約12時間 種別 3時間10分~6時間30分
〈2〉	<b>その他プログラム</b> *資料は視聴サイトに掲載します。	
	① 活用できる月次報告	1時間28分
	② 資金管理の実践的実務	1時間11分
	③ 社会福祉法人にとってのインボイス制度・電子帳簿保存法 (令和5年度改正含む)	2時間43分
	④ 財務諸表からみる経営分析	1時間26分

詳細は、別紙をご覧ください。

※〈1〉基本プログラムについては、受講者より1月末までにいただいたご質問に対して、講師の回答を後日、メールにてご提供する予定です。ぜひ早めに視聴いただき、多くのご質問をお寄せください。なお、ご質問は研修会視聴サイトより受け付ける予定です。

※〈1〉は原則、令和2~4年度に実施したものと**同じ内容**です。

※〈2〉①②は令和3~5年度（前期）、③④は令和5年度（前期）と**同じ内容**です。

4 視聴期間

令和5年12月18日（月）10時 ~ 令和6年3月15日（金）17時まで  
(期間中は、いつでも、何度でもご覧いただけます。)

## 5 〈1〉基本プログラム使用テキスト

『令和2年版 社会福祉法人会計の実務 第2編 決算編』（令和3年1月25日発行）4,400円

著：公認会計士 宮内忍 税理士 宮内眞木子、発行：東京都社会福祉協議会

※〈2〉その他プログラムは、別途、視聴サイトにおいて資料を提供いたします。

## 6 オンラインでの動画配信の視聴にあたって

※参加の申込みは、以下の事項をご確認の上、お申込みください。同意いただけない場合は参加申込みの受け付けができません。

### ＜注意事項＞

- (1) お申込みは受講者お一人ずつ、お申込みください。
- (2) 講座の録音、録画、撮影は固く禁止いたします。
- (3) 視聴のために使用する URL 等は本講座参加申込者のみ利用可能です。他の方への転送等は固くお断りいたします。

### ＜ご準備いただきたいもの＞

- ①パソコン、タブレット等（インターネット環境）
- ②イヤフォン（※必要に応じて）

## 7 参加費

	プログラム	参加費
〈1〉	<b>基本プログラム</b> (共通+種別<高齢/障害/保育/措置>のうち1コースを含む) * 指定テキスト代は含まれておりません。上記5使用テキストの発行年月日をご確認の上、お持ちでない場合には必ずお申込ください。	14,000円
	* 基本プログラムで選択された種別以外に、他の種別コースの受講を希望される場合のみお申込みください。(例 法人本部で複数の種別の会計を担当)	1種別コース 4,000円
〈2〉	①活用できる月次報告	4,000円
	②資金管理の実践的実務	4,000円
	③社会福祉法人にとってのインボイス制度・電子帳簿保存法	5,000円
	④財務諸表からみる経営分析	5,000円

## 8 参加申込み・参加費支払い方法

- (1) 下記 URL 参加申込フォームより、12月5日（火）までにお申し込みください。

お申込受付

【参加申込フォーム】

<https://www.tcsw.tvac.or.jp/form/kaikeikoki2023.html>

- (2) 12月6日以降に、適格請求書（インボイス）を、登録のメールアドレスにお送りいたします。適格請求書に記載の金融機関にすみやかに指定の参加費をお振込みください。

- (3) 12月15日（金）に視聴のための URL・パスワードをお送りします。指定テキストのお申込者へは、別途郵送いたします。なお、お申込み後の変更、キャンセルはお受けできませんのでご了承ください。

## 9 問合せ先

■東京都社会福祉協議会 福祉部 経営支援担当（松田・土屋）

TEL 03-3268-7192 FAX 03-3268-0635

※お問合せは、メールにてご連絡ください。E-mail [tky-kensyuu@tcsw.tvac.or.jp](mailto:tky-kensyuu@tcsw.tvac.or.jp)

# 別紙 令和5年度 社会福祉法人・施設 会計実務研修会（後期）プログラム

※〈1〉〈2〉①②は原則、令和2～4年度に実施したものと同一内容です。

※〈2〉①②は原則、令和2～5年度（前期）に実施したものと同一内容です。

※〈2〉③④は令和5年度会計実務研修会（前期）と同一内容です。

	プログラム・時間	内 容	参加対象者
〈1〉	<b>基本プログラム：決算</b> （共通＋種別1コース選択） <b>* 指定テキスト使用</b> 共通約12時間 講師：宮内眞木子氏 種別約3時間～6時間30分 講師：福祉会計サービスセンター職員	決算手続きの目的、順序、スケジュールや決算書の体系・機能などを学び、実物大の決算書モデルとその検証方法も含めて、決算作業を適切かつ効率的に処理する力を身につけることを目的とします。社会福祉法第55条の2（社会福祉充実計画）の概要、社会福祉充実残額計算の仕組みと会計的意味を説明するとともに、社会福祉法に基づいた、決算承認手続の流れや、社会福祉法人として行うべき計算書類等の備置・閲覧・公表及び所轄庁届出についても解説します。 <b>共通</b> (1) 決算の主題・スケジュール (2) 決算目的・決算書の体系 (3) 決算手続き(決算整理) (4) 内部取引消去・決算書類の注記事項 (5) 附属明細書の作成 (6) 決算準備作業チェックリスト、PLとCFの整合性確認 (7) 社会福祉充実計画の承認制度総論 <b>種別（高齢/障害/保育/措置）のうち1コース選択</b> 運用通知(前期と同じ)、決算整理仕訳、決算演習問題、決算書モデル	・社会福祉施設・事業所及び当該施設・事業所を運営する主に社会福祉法人の <b>経理実務担当職員</b> （＝雇用関係にある職員）
〈2〉	<b>①活用できる月次報告</b> 1時間 28分 講師：宮内眞木子氏	月次報告で何が伝えられるのか、報告する者と報告を受ける者にとって適時適切な月次報告とは何かなどを学びます。	・上記の <b>経理実務担当職員</b> ・ <b>社会福祉法人の役職員</b>
	<b>②資金管理の実践的実務</b> 1時間 11分 講師：宮内眞木子氏	資金繰りや赤字対策を実践的にこなす手法などを学びます。	
	<b>③社会福祉法人にとってのインボイス制度・電子帳簿保存法改定</b> 2時間 43分 講師：宮内眞木子氏	<b>〈経理担当者・役職員向け〉</b> 両制度の内容について、最新の令和5年度改正を含めて解説します。法人役職員が自法人の対応を検討いただくうえで参考にさせていただきます。	
	<b>⑤ 財務諸表からみる経営分析</b> 1時間 26分 講師：福祉会計サービスセンター職員	<b>〈役職員向け〉</b> 財務諸表を踏まえて自法人の経営状況を理解し、今後の法人経営を検討するための考え方を学びます。取り上げている事例は特養ケースとなります。	

※税理士、会計システム担当者、行政の方の参加はお断りします。